

3. 分析・評価結果の概要

自己評価結果の分析をふまえて討議した結果、当社取締役会は、「取締役会の実効性は有効に機能している」と結論づけました。

【2020年度取締役会運営の改善状況】

取締役会に提供される資料については、当社グループのコアビジネスである国内飲料事業の重要 KPI の進捗状況や経営会議等での議論のポイントを補足説明するなどの改善を図りました。また、撤退基準に関する協議を継続的に実施したほか、人財戦略の進捗状況について定期的な報告機会を設けるなど、重要な経営課題への対応状況の継続的モニタリングに資する情報の拡充を図りました。

重要案件の審議にあたっては、社外取締役・社外監査役と業務執行を担う取締役とのコミュニケーションの場として、事前に意見交換会を開催するなど、議論の活性化を図りました。

一方、より専門性の高い事業領域に関する審議にあたっては、事前に十分かつ丁寧な説明が必要であることはもちろんのこと、今後、専門領域に関する豊富な経験と知見を有する社外役員を登用することが必要であるとの認識が示されました。

なお、取締役会の機能強化を図り、実効性をさらに高めていくための今後の課題は、以下のとおりであるとの認識が共有されました。

- (1) コミュニケーション機会の充実を図り、次期中期経営計画の策定に向け、事業ポートフォリオのあり方や投資戦略の方向性に関する議論をさらに深めていくこと。
- (2) 次世代幹部のサクセッション・プランや海外事業戦略を推進できる人材の確保・育成に関する取り組み状況を適切に監督していくこと。
- (3) 海外事業の拡大に対応した経営管理体制・監査体制の強化を図るとともに、事業領域の拡大に対応した適切な KPI の設定など、経営管理手法の高度化を推進していくこと。
- (4) 中長期的な取締役会の構成については、経営戦略の進展や社会の変化に応じて、さらに多様な人材の登用を引き続き検討していく必要があること。

4. 今後の取組み

当社は、取締役会の監督機能をさらに強化すべく、2021年4月16日開催予定の第46回定時株主総会へ医薬品業界における豊富な経験と知見を有する新任社外取締役候補者を含む取締役選任議案を上程することといたしました。今後とも、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みであるコーポレート・ガバナンスの継続的改善に取り組むことにより、中長期的な企業価値向上につなげてまいります。

【ご参考】前年度の評価結果

取締役会の機能強化を図り、実効性をさらに高めていくための今後の課題

- (1) 中長期的な取締役会の構成については、経営戦略の進展や社会の変化に応じて、さらに多様な人材の登用を引き続き検討していく必要があること。
- (2) 取締役に提供する資料については、さらなる議論の活性化に向けて、重要な論点をより明確にするなど、工夫の余地があること。
- (3) 取締役会の運営については、「人材の確保・育成」「国内飲料事業の基盤強化」「ヘルスケア領域拡大」など、中長期的な企業価値向上に向けた重要な経営課題に関する取締役会への報告や審議の機会を拡充する必要があること。
- (4) 重要案件の審議にあたっては、定例取締役会のみでは、時間の制約があることから、別途、業務執行に携わる取締役・執行役員と社外役員とのコミュニケーション機会を拡充する必要があること。
- (5) 将来の成長に向けた海外事業の重要性の高まりに対応した管理体制の強化について検討を進めていくこと。

以 上